

D-Care Vol.20

安全なカテーテルの 固定管理

Q. はじめに

当院は神奈川県海老名市にある479床の急性期病院である。2023年5月に新棟へ移設し、全麻手術室8部屋から11部屋に増設した。年間手術件数は局麻手術を含め、6177件(2019年度)、5447件(2000年度)、4708件(2021年度)、5388件(2022年度)である。当院全体の診療科数が25診療科で、外科系は13診療科ある。そのうち閉鎖式ドレナージカテーテルを使用している診療科は約10科になる。

Q. ドレナージカテーテルの固定で困っていたことは何でしょうか？

もともと使用していた閉鎖式ドレナージカテーテルは、単純にドレナージカテーテルのみが入っており、固定補助テープは別で準備していた。また、固定方法は伸縮性サージカルテープを部署内でカットしたものを使用。ドレナージカテーテル1本につきカットした伸縮性サージカルテープを3枚使用していた。

社会医療法人
ジャパンメディカルアライアンス
海老名総合病院

看護部 手術室 看護主任/
手術看護認定看護師

喜元 和美先生

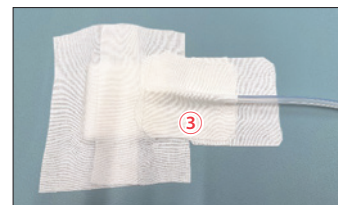


《以前のドレナージカテーテル固定方法》 写真AB参照

1. ドレナージカテーテルをテープで固定した後に①のテープを貼る
2. Y字にカットを入れた②のテープでドレナージカテーテルを挟むようにして①の上から貼る
3. ②を覆い被せるようにしながら③のテープをオメガ貼りする



写真A



写真B

※一部の診療科では医師が独自の固定を行っており、この限りではなく、固定方法はバラバラだった。

この固定方法だと、テープが重なり合うことで剥がれやすくなってしまい、3枚貼るための手間もかかっていた。また、準備においても、部署のアシスタントがテープをカットしてストックを作成していたため、準備の手間もかかっていた。

Q. 固定補助テープ入りのドレナージカテーテルの導入で何が変わりましたか？

当院では、2015年頃よりカテーテル固定補助テープが同梱されている閉鎖式ドレナージカテーテルを導入した。それにより、事前にテープをカットする手間がなくなったことや、3枚使用していた固定補助テープを、キット内に同梱されているテープ1枚のみで良くなり、固定時間の短縮にも繋がった。また、事前の説明会を通して医師・看護師共に誰でも同じ固定ができるようになり、ドレナージカテーテル固定方法の意識統一にも繋がった。

初回の固定は手術室にて行われ、ドレナージカテーテルの位置がずれていないかが分かるようにマーキングも行い、手術室退室時に病棟看護師とともにダブルチェックを実施することで、手術室と病棟との連携も図っている。

また、ドレナージカテーテルキット内に同梱されている固定補助テープを単体でも導入。ドレナージカテーテルの固定のみならず、膀胱留置カテーテルや胃管を固定するなど様々なシーンで活用されるようになった。胃管用のものはサイズが小さいだけで、固定の方法は同様である。そのため、固定する対象が変わっても誰でも同様の固定が出来るようになったことは、良かったこととして挙げられる。

以前はドレナージカテーテルの固定方法がバラバラだったため、事前に準備していても別の固定方法となることがあった。しかし、ドレイン固定＝コレ!という認識の統一が図れるようになったことで、事前にドレナージカテーテル挿入が分かっている術式では、術前から固定を想定した用意ができ、術後のスムーズな固定に繋がりと、業務効率の向上に繋がったと思う。

ドレナージカテーテル固定にこだわりを持っており、かならず自分で固定していた医師からも、誰が固定しても同じ固定になるため、看護師に固定方法を任せてもらえるようになり、医師の業務負担軽減(タスクシフト)にも繋がった。

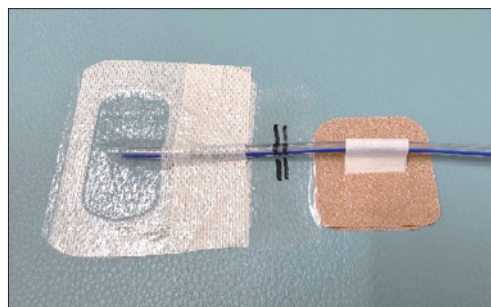
おわりに

基本的な固定方法を統一したことにより、部署移動があったとしても、診療科や固定対象の違いで固定方法が異なるといった事もない。そのため、診療科別固定方法マニュアルの作成もいらなくなったことも固定方法の統一に取り組んで良かったこととしてあげられる。

最後に、自施設での取り組みについて試行錯誤してこの方法にたどり着いたが、課題もある。刺入部からの出血により透明フィルムドレッシングが剥がれそうになってしまうことだ。現状出血が多い場合は透明フィルムドレッシングを貼り直す対応をしている。他施設ではどんな固定方法を行っているのかを知る機会があれば、それを活かし、ドレナージカテーテルの固定に改良を重ね、より安全な固定方法を考えて行きたい。

《現在のドレナージカテーテル固定方法》 写真③参照

1. ドレナージカテーテル刺入部には、透明フィルムドレッシングを貼る
 2. 付属のカット入りテープをドレインの下から貼る ※付属の日付記載テープに関しては使用せずに直接透明フィルムドレッシングに日付を記載してもよい
 3. 透明フィルムドレッシングの少し下方部分を固定補助テープで固定しオメガ貼りする
 4. ドレナージカテーテルの位置がずれていないかを確認する目的で、透明フィルムドレッシングと固定補助テープの間の皮膚にマーキングする
- ※術式やドレナージカテーテル挿入部位によってはこの方法での固定が困難なこともある。その場合は、医師と相談しながらフレキシブルに対応する。



写真③



ドレナージカテーテル固定補助テープ
使用方法動画

カーディナルヘルス株式会社

お問い合わせ
0120-917-205



製品情報サイトは
こちら

© 2023 Cardinal Health. All Rights Reserved. CARDINAL HEALTH、Cardinal Health ロゴは Cardinal Health の商標又は登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の所有物となります。


Cardinal Health™

mt-ot-dc20
2403.ODP.SL